

3/10(木)の行事

はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル

報道発表資料の配付日時 2月22日(火) 13時30分

| | | | |
|-------------------------|--|------|--|
| 発表項目 (行事名) | 「令和3年度(2021年度)北海道地域文化選奨 ^{せんしょう} 」伝達式のお知らせ | | |
| 記者リチャ- のお知らせ | (実施日時) 月 日 () 時 分～ | 発表者 | |
| | | 発表場所 | |
| 概要 | <p>道内各地で、地域に根ざした文化活動や文化支援活動を行い、地域の文化振興に貢献している個人・団体を顕彰する「北海道地域文化選奨」について、上川総合振興局管内の団体が受賞されましたので、次のとおり伝達式を行うこととしましたので、お知らせします。</p> <p>【日 時】 令和4年3月10日(木) 14:00～</p> <p>【場 所】 富良野文化会館中会議室 (富良野市弥生町1-2)</p> <p>【受賞団体】 富良野メセナ協会</p> <p>【伝達者】 上川総合振興局長 佐藤 昌彦</p> <p>【参加者】 富良野メセナ協会関係者、富良野市長 北 猛俊 氏</p> <p>※例年、北海道地域文化選奨の贈呈式は、地域文化選奨を受賞した方の所在地にて行っておりましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、贈呈式は行わないことといたしました。受賞者には、各(総合)振興局において伝達式を実施するなど、地域の実状に応じて対応することとしました。</p> | | |
| 参 考 | ・賞の概要や受賞者の活動内容については、別添「令和3年度(2021年度)北海道地域文化選奨の概要及び受賞者について」をご参照ください。 | | |
| 報道(取材) に当たって のお願い | 地域文化の一層の振興を図るためにも、取材くださいますよう、よろしくお願いします。 | | |
| 他のクラブ* との関係 | 同時発表 | | |
| 担 当 (連絡先) | 上川総合振興局保健環境部環境生活課 (担当者) 課長 井上 香織 ダイヤルイン 0166-46-5128 内線 2950 | | |

令和3年度(2021年度)「北海道地域文化選奨」の概要及び受賞者について

環境生活部文化局文化振興課

○ 概要

「北海道地域文化選奨」は、地域に根ざしたユニークで優れた文化活動や文化支援活動を行い、それが実践者だけにとどまらずに、地域の文化振興に広く貢献している個人・団体（民間企業含む）を顕彰し、その活動内容を広く道民に紹介することで、道内各地の文化活動をより活性化し、北海道の地域文化の振興に資することを目的として、平成5年度に創設。

・北海道地域文化選奨

- ・地域文化の振興のため、特に優れた活動を行っている個人又は民間団体・民間企業を顕彰
- ・原則として5年以上の活動実績があり、現在も継続しているもの

・北海道地域文化選奨 特別賞

- ・地域文化の振興のため、優れた活動を行っている個人又は民間団体・民間企業を顕彰
- ・原則として5年以上の活動実績があり、現在も継続しているもの

○ 令和3年度(2021年度)受賞者

<北海道地域文化選奨> 1件

| 富良野メセナ協会【富良野市】 |
|--|
| <p>「富良野メセナ協会」は、14年の長きにわたり、毎年企業や個人からの協賛金のみで一流の講師陣を招き、近隣市町村の小・中学校や高齢者大学、福祉施設などで15～16種類のプログラムの実施を通じて、多くの子どもたちに芸術文化に触れる機会を提供し続けている。</p> <p>「メセナ」の考え方を実践している活動は、地域の文化振興と発展に寄与する素晴らしい取組であり、他の地域の模範となる活動として評価された。</p> |

<北海道地域文化選奨 特別賞> 2件

| イザベラ・バードの道を辿る会 平取部会【平取町】 |
|--|
| <p>「イザベラ・バードの道を辿る会 平取部会」は、地域の自然・文化・歴史を再認識することを目指して、イザベラ・バードの足跡を辿るフットパスコースの整備・維持や、解説看板の設置、フットパス・イベントや広報活動を続けている。</p> <p>関係者の地道な努力と熱意により、平取町のみならず、道内各地へと活動が広がりつつある地域活性化の好事例として評価された。</p> <p>※イザベラ・バード：英国協会牧師の長女として生まれ、1878年（明治11年）に来日し、横浜から東北、北海道を旅して気候風土や人々の暮らしを著書「日本奥地紀行」で世界に紹介した。</p> |

| 舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会【長沼町】 |
|--|
| <p>「舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会」は、長沼町の舞鶴遊水地をタンチョウの生息環境地として活用し、遊水地来訪者への観察・撮影マナーの普及活動や、地域の子どもたちへの環境学習を続けている。</p> <p>また舞鶴遊水地のみならず、千歳川流域の他地域に活動が広がるなど、地域への波及性のある好事例として評価された。</p> |